

第25回総合治水ワーキングチーム会議の協議結果

日時 平成18年2月27日(月)14:00~21:00

場所 兵庫県民会館 902会議室

出席者 (委員)松本(誠)、奥西、川谷、村岡、長峯、岡田、加藤、佐々木、中川、
伊藤、草薙、酒井、谷田、土谷、山仲
(河川管理者)田中、渡邊、松本、前川、西村、合田
(河川整備課)糟谷
(事務局)黒田、前田

内容(協議結果)

1 河道対策の検討

前回(第35回)流域委員会で河川管理者から説明のあった、5つの河道対策(河積確保)メニューについて、採用の可否を含め、次の事項を確認した。

河床掘削

河川内で実施できる基本的な対策として採用するが、施工に当たっては、自然環境に配慮する。なお、堆積した土砂の掘削については、河川管理の問題として別途考える。

低水路拡幅

河川内で実施できる対策として採用する。築堤区間では、堤防の安全性確保に必要な幅を残す。

高水敷切下げ

堤防の安全性を考慮して、基本的には採用しない。なお、安全性が確保できる場合は、必要に応じ河積確保の方策として検討する。

引堤

河道内を掘削しても、なお、河積が不足する狭隘部等においては、局所的な対策として引堤を検討する。

堤防嵩上げ

越水、破堤した場合、被害が増大することから、堤防の嵩上げ(計画高水位の引き上げ)は行わない。

2 その他

(1)次回会議の協議事項

流域対策(ため池、水田)、貯留施設(遊水地)の数値化

貯留施設(遊水地、利水ダム)の分担の可能性

河道対策の検討

河道対策、流域対策、貯留施設の分担の考え方整理(前回流域委員会での意見を含め、論点を整理)

(2)今後の日程(開催日時)

- 第26回 3月3日(金) 16:30~20:30(終了後、運営委員会開催)
- 第27回 3月9日(木) 13:30~
- 第28回 3月14日(火) 13:30~
- 第29回 3月23日(木) 16:00~
- 第30回 3月29日(水) 13:30~

当日配付資料

資料1 第35回武庫川流域 河道対策&全体分担量についての総括審議 各委員
の意見(松本委員長メモ)

資料2 警戒ため池一覧(伊藤委員提出)